

SILVER

シルバー

なごや

発行



公益社団法人
名古屋市シルバー人材センター

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通3丁目12番地の1

TEL.052-842-4688

FAX.052-842-4894

ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/nagoyasj/>

シルバー

No.

116

令和5年9月



「ライトアップ白鳥」
白鳥庭園
南部支部
横井久己
会員作品

9月号の内容

特集記事 就業現場安全巡回調査報告	2
安全・適正就業関係記事	3
私の支部の地域班・職群班	4
就業現場訪問	5
おじゃまします 会員に聞く	6
普及啓発促進月間告知、消費税の制度が変わります	8

互助会からのお知らせ	9
はつらつの素	10
名古屋ウォッチング	10
会員のひろば	11
ちょっとひといきコーヒーブレイク・前号感想	12

別紙

安全・適正委員会からのお知らせ

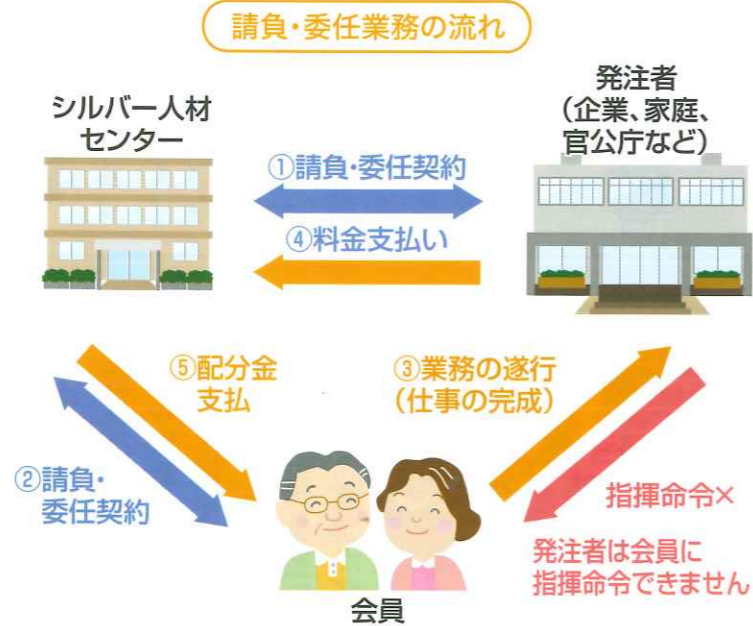
シルバー人材センター 働き方について

での

シルバーでの働き方は就業形態により請負・委任業務、派遣業務に大別されます。

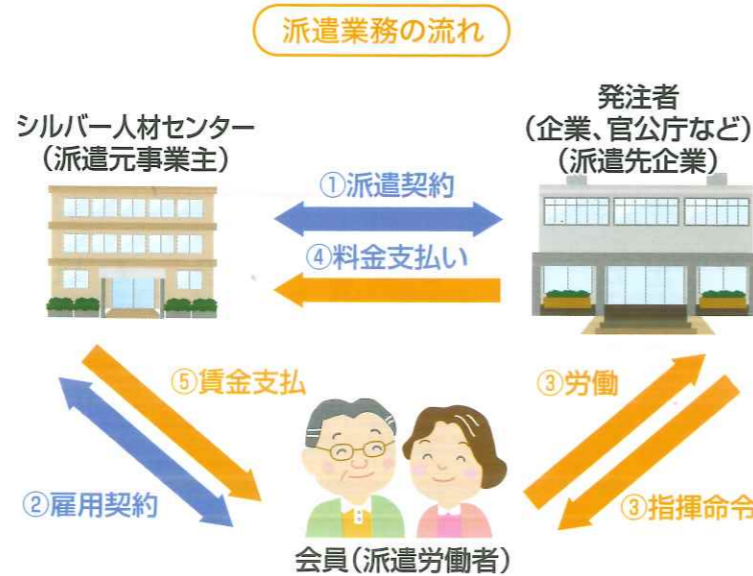
請負・委任業務

請負・委任による働き方では、発注者様、センター、会員との間には雇用関係はありません。会員は労働者ではないため、労働関係法令は適用されません。また、会員は請負った業務を自らの裁量で完成させるため、発注者は会員に指揮命令はできません。



派遣業務

派遣業務は、シルバー人材センターが発注者様から業務を受注し、会員を発注者様の事業所などに派遣する方法により業務を行います。派遣による働き方では、会員は、発注者の指揮命令を受けて働きます。会員は愛知県シルバー人材センター連合会名古屋市事務所と雇用契約を締結します。会員は労働者となり、労働関係法令が適用されます。



シルバー人材センターが会員に提供する仕事は、請負・委任業務、派遣業務いずれも臨時的かつ短期的または軽易な業務であり、センターで働く会員の就業日数と就業時間は、おおむね月10日以内、または、おおむね週20時間をこえない範囲となります。

西部支部

西部支部では、7月11日に軽作業・カート・清掃の現場を、7月26日に植木手入れの現場を計6か所巡回しました。

北区の大型スーパーでのカート整理では、午前中のおたただし時間帯の中、来客や車両にぶつかったりすることのないよう気をつけて作業が行われる様子が確認できました。会員さんからは「焦らず作業を心掛けていく」というお話も聞くことができ、引続き安全就業に努めていただこうと呼びかけを行いました。



▲仕事内容について何う様子

東部支部

東部支部では、7月14日に屋内外清掃、7月19日にカート整理の計2か所安全巡回を実施しました。

現場は福祉会館のため、多くの利用者が出入りしていましたが、会員は周囲の安全に気を付けながら作業していました。朝の涼しい時間帯に建物周辺の清掃を済ませ、その後館内の作業を行っていました。特に階段の清掃では、転倒する危険性が高いことから、常に足の位置を確認して作業しているとのことでした。作業の効率と安全確保を心がけている姿勢を感じました。9月には屋外作業の現場を巡回します。



▲エントランス周辺の清掃作業の様子

就業現場安全巡回調査

各支部の安全・適正対策委員会を中心に、就業現場を巡回し、安全確認をしました。

北部支部

北部支部では、7月21日と25日の2日に分けて、屋外軽作業、カート整理、機械刈り除草、植木手入れ、残材処分、の積み込みの計5つの職種で安全巡回を実施しました。

植木手入れでは、蜂の巣がないかを木を叩いて安全を確認してから作業にとりかかっていました。切った枝や葉の残材は袋に詰め、作業が終わったところからきれいにして作業を進めていきました。

安全に配慮し、熱心に就業に取り組む姿や先輩会員からの声掛けによって機敏に動く会員の姿、連携して作業する姿はとても印象的でした。



▲低木の剪定中に安全について話をする様子

南部支部

南部支部では、7月19日・21日の2日間で、除草(機械刈り)、屋内清掃(2件)、段ボール・ゴミの分別作業・清掃、カート整理及び商品の梱包業務と計6か所の安全巡回を行いました。

商品の梱包業務の現場では、商品を手際よく梱包する作業が印象的でした。屋内の涼しい環境での作業でしたが、安全・適正対策委員会から「涼しい場所でも熱中症には気を付けてください」とさらなる安全就業を呼び掛けました。



▲梱包作業をする様子

小幡学区 A班・B班



北部支部 小幡学区
川上 鉄雄 会員
(会員歴18年目)

今回は、約3年ぶりに地域班会議が開催されたこともあり、小幡学区の地域班を紹介いたします。

小幡学区地域班の状況について

会員はA班が15名(男性7、女性8)、B班が22名(男性17、女性5)という構成になっています。15年程前には、会員数の増加もあり一時C班を新設したこともありましたが、その後また2班にもどり現在に至っています。地域班会議は、当時より合同開催の形を採っていました。私は平成17年に会員となり、平成18年から連絡員を務めています。



連絡員とは?どのような仕事をするの?

〈主な仕事内容〉

- ① 地域班連絡員会議への出席
- ② 地域班会議の開催
- ③ 新規入会会員への連絡、説明
- ④ 普及啓発活動

(シルバー人材センターのPR活動)

地域班会議は毎回15名前後の会員出席で開催していますが、センターからの連絡・依頼事項を伝達し、就業状況他の意見交換に加え互助会関連の情報交換もします。

地域班はどのような活動をするの?

- ① 各会員宅の周辺や友人・知人へのPR活動
- ② 名鉄小幡駅出入口付近でのPR活動
- ③ スーパー駐車場でのPR活動
- ④ 清掃ボランティア活動

PR活動は、地域班会議の後などに少し時間をとって実施しています。



スーパー駐車場にて



名鉄小幡駅出入口階段にて

今後目指したいことは

地域班会議は、活発な意見交換が行われ、また会員同士の交流の場として大変有意義なものです。今回、久しぶりに開催した地域班会議では、会員の皆さんが情報や交流を望む気持ちがひしひしと伝わってきました。

これからもより多くの会員の方に、地域班会議に出席いただけるようにし地域班の活性化を進めていきたいと思います。

連絡員については、難しい特別な仕事ではありませんし、楽しくやりがいがあります。現在連絡員が欠員の地域班が多数あるとのことですが、是非皆さんもやってみませんか。

取材を終えて

連絡員歴17年の川上会員の熱い思いが伝わってきました。皆さんも是非地域班会議に出席してください。

取材/大脇章信(機関誌編集委員)



配布物

就業現場訪問



南部支部 野田学区
飯田 登代美 会員
(会員歴6年目)

就業先の大平病院で、お仕事についてお話を伺いました。

具体的にどのような仕事をされていますか?

シルバー会員(女性のみ)7人で1日3〜4人従事し、ローテーションを組んで実施しています。シルバー会員の就業は平日9時〜13時の4時間の就業(日曜日は就業なし)、週2日働く人と週3日働く人がいます。

お仕事の内容は

老人保健施設内各階の掃除です。主に4階・5階・6階・7階を各階1人で担当します。グループ長はいないため、各会員が責任を持って各自の仕事をしています。入所者のベッド下の掃除やトイレの掃除は、腰をかがめながらの体勢が続くため、体力を使います。無理をすると体を壊すので、少しでも楽な体勢がとれるよう心掛けて掃除をしています。



一緒に就業する会員
(左から吉崎まい江会員、牧原貴子会員、新実優美子会員)

お仕事を通じて感じたことは

まず、また、新型コロナウイルスの感染拡大が始まった頃は、階段の手すりや車いすのハンドル等、様々な人の手に触れる場所は必ず消毒液で拭きとることを徹底していました。

掃除をしながらの短い時間ではありますが、入所者との日常会話を笑顔で返すよう心掛けており、入所者との触れ合いを楽しんでいます。また同時に、清掃中利用者と接触し転倒等をさせないよう安全第一で就業に励んでいます。一生懸命に掃除をしていると4時間の就業時間もアツという間です。また、このお仕事はシルバー会員の老後の勉強に最適です。自分の体力が続く限りは、長く従事したいと思っており、無理をせずに働くことが、自分の生き甲斐にもなっています。



施設内を掃除する様子



取材/日比義勝(機関誌編集委員)



おじゃまします! 会員に聞く



会員の特技をご紹介

会員の特技を活かした就業

会員特技紹介

コーヒー一杯、元気いっぱい!
就業・高齢者就業支援センター
喫茶「銀木犀」



東部支部
片平北学区
橋詰 昌子 会員
(会員歴6年目)

お客様から元気をいただく

センターに入会したきっかけは、地下鉄に置いてあったチラシです。長年、保険会社の営業職の仕事をしてきたので、接客の仕事がしたいと思い、会員になりました。偶然にも、センターニュースで高齢者就業支援センターの喫茶「銀木犀」就業の募集があったので早速申し込みました。

喫茶のお仕事は、お客様の注文を手際よくこなすだけでなく、お客様との会話も大切です。多い時には半日で40〜50名のご利用があります。大変ですが、コーヒーを

間にお客様といるいろいろな話題が花咲く空間になります。先輩になる方から仕事や趣味の経験談を聞くと、とても勉強になり、これからの人生にも役立ちます。これはお客様を通して元気をいただくお仕事だと感じます。



おいしいコーヒーを注ぐ様子

仕事も趣味もいっぱい

62歳まで週に3〜4日、趣味のゴルフを楽しんでいましたが、今はフラダンスと麻雀をやっています。喫茶のお仕事で仲間も増えて、一緒にランチもしています。今後も接客や喫茶関係のお仕事があれば挑戦して、元気な高齢者でいたいと思います。



取材を終えて

喫茶「銀木犀」におじゃまして取材しました。コーヒーを注文しましたが、てきぱきと作業しながらお答えくださった姿勢に仕事に対する誇りを感じました。ますますのご活躍を願っております。

取材/磯谷幸夫(機関誌編集委員)



会員と楽しく談笑する様子

会員特技紹介

西部支部 写真同好会

西部支部写真同好会は令和3年に有志で結成されました。写真撮影が趣味の方が20名集まり、同好会活動として定期的に撮影会・勉強会を行っています。

副代表
西部支部
亀井 彦巳 会員
(会員歴12年目)



【集合写真】前列右端が亀井さん、前列左から二人目が松田さん、右から二人目が望月さん

みなさんの写真歴はどのくらい、またどういったきっかけで始められた?

松田: 子供や家族の写真を撮っていました。今は景色中心、先生に教わったわけではありませんね。

望月: 中学の頃、兄のカメラを触っていたのがきっかけです。そこから空いた時間でやっていたのですが、すっかりやり始めたのはここ10年のこと。自分も子供は撮っていました。カメラからビデオに変わったので...

普段の同好会の活動は? どのような写真を撮る?

亀井: 私も家族写真を撮っていました。だんだんビデオが変わっていきまして。今のカメラは全部デジタルで、フィルムカメラは現像する場所がなくなっています。フィルムにはデジタルの画素数などないため、これこそ写真であると言っ専門家もいます。

撮影のご苦労などは?

撮りたいシチュエーションを描いても、思うようにならないことですかね。例えば、夕焼けの写真が撮りたくても空が焼けないとか雲が出るとか。花や鳥を撮りたくても思った明るさにならないとか。狙っていても来ないとか。光がすべてなので、イメージ通りになるまで何時間も待つこともあります。

写真撮影の魅力はどんなところ?

まず撮ってみることが大事、きれいに撮れると嬉しいですし撮る楽しさがあります。

今後の目標などは?

仕事をしている人など欠席者もあり、みんなと一緒に活動できるとよいですね。写真を撮る人同士で仲良く活動することを旨としていますし、もちろん、撮影マナーにも十分注意をしています。あと10名くらい増えると活動はさらに活発になります。参加希望される方がおられれば是非ご入会をお待ちしています。



中京銀行 浄心支店での作品展写真 ※R5年1~2月、R5年7~8月



【撮影者】中川 五子 会員
【撮影場所】名城公園

取材/福井和豊(機関誌編集委員)

これまでに開催した主な行事

プリザーブドフラワー教室



参加者の作品

19名の方が参加されました。当日は参加者が花を楽しく飾り付ける姿が見られました。

スマホ活用基礎講座

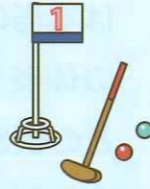


真剣に話を聞く様子

15名の方が参加されました。当日はスマホで地図の確認や、LINEのやり取りについて学びました。

今後の開催予定の行事

ボッチャ大会、グラウンドゴルフ大会、教養文化講演会、映画会、日帰り旅行、シルバー会員交流のつどいなど様々な行事を予定しております。



〈問い合わせ先〉:名古屋市シルバー人材センター 会員互助会 ●電話:842-4688 ●Fax:842-4894

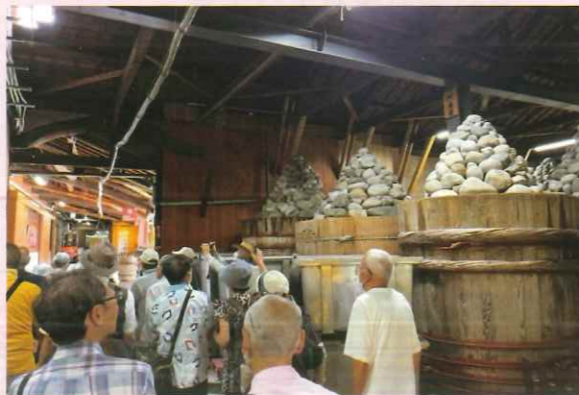
会員互助会 日帰り旅行



コロナウイルス感染防止の観点から実施できておりませんでした日帰り旅行を、今年度約4年ぶりに実施いたしました。日帰り旅行の行き先は、今年の大河ドラマ「どうする家康」で話題の地である岡崎を含んだ三河の観光地を巡りました。



どうする家康 大河ドラマ館に向かう様子



まるや八丁味噌で味噌蔵見学



真福寺にてお参りする様子



蒲郡海鮮市場でお買い物



普及啓発促進月間です!

10月は普及啓発促進月間です。シルバー人材センターの普及啓発事業の一環として、全国的に普及活動が展開されます。センターでも、知名度アップのため、ボランティア活動や、地域のイベントに参加するなどPR活動を行います。

PR活動するポイント

● 会員さんを増やす

入会者が不足し、お仕事をいただいてもお客様に会員さんを紹介できないケースが増加しています。友人・知人・ご近所の方に入会のお誘いをお願いします。ご夫婦で入会も大歓迎です。

会員さんのほとんどが、入会して生活に張り合いや生きがいを感じています。

ぜひ、センターへの入会を勧めてください。

● お仕事のPRをする

普段の就業からお客様に「またお願いしたい!!」と思われるよう、安全で丁寧な仕事を心がけましょう。

センターに仕事をお願いしたい方がみえましたら、センターまでご連絡ください。

PR活動の取り組み

生涯現役のつどい～しるばぁライフ2023～

10月28日(土)に高齢者就業支援センターにおいて「生涯現役のつどい」を開催します。

当日は様々な体験コーナーやシルバー人材センターの仕事の実演、高齢者就業支援センターで実施している健康講座、血管年齢測定などの健康に関するコーナーも実施。また、同好会の作品展示や販売、景品が当たるクイズラリーも実施します。

9月の支部だよりにより詳細なご案内を同封いたしますので、ご友人・ご家族をお誘いあわせの上、ご参加ください。

● 区民まつり等行事でのPR

区民まつりや街頭などの場でグッズを配布する活動を行います。年齢問わず多くの方に幅広くPRできるチャンスです。参加をお待ちしております。

● ボランティア活動

公園や道路での清掃奉仕活動などを行う予定です。地域に存在感をアピールできる機会です。仲間と一緒にいきいきとボランティア活動を楽しみましょう。

消費税の制度が変わります(インボイス制度がはじまります)

シルバーなごや112号(令和4年7月号)でもご案内しましたが、令和5年10月から消費税のインボイス制度がはじまります。この制度により、センターでは新たに消費税の納入負担は発生しますが、会員(課税登録者を除く)の皆様には、引き続き免税事業者として活動していただきますので、導入後の手続きや負担増などの影響はありません。

配分金に関するインボイス制度の概要は、センターホームページをご覧ください。



「笑う門には福来たる」 は本当だった!

笑いの体操とヨガの呼吸法(深呼吸)を組み合わせた「笑いヨガ」は、1995年インドの内科医「マダン・カタリア」によって考案されました。脳は本当の笑いも作り笑いも区別がつかないという特性を利用して、笑いの体操をすることで、脳を楽しい・嬉しいと錯覚させ、エンドロフィンなどの快感ホルモンを分泌させることで、本当に清々しく明るい気持ちにさせることができます。また、連続した深呼吸によって、体内に大量の酸素を取り込み、体の中からエネルギーがあふれてきて、免疫力も上げることができます。現代の科学・医学の発達によって、笑いヨガを通し、「笑いは百薬の長」「笑う門には福来たる」などの昔からの言い伝えが真実であったことが実証されています。



監修: 笑いヨガ講師 家根谷 政雄様

戦争の思い出

竹本 脩(北部支部)

今年もまた、終戦記念日が訪れます。戦争を知らない国民が圧倒的に多くなった今日、若い人たちは、戦争は遠い国のことのように思われているかもしれません。

昭和二けた前半生まれの私は、太平洋戦争の悲惨な出来事を今でも覚えています。国民学校三年生だった私は、重厚な防空壕の中で父と兄三人でいるとき、米軍の空襲におそわれました。「バリバリ、ドカーン」と焼夷弾が近くに直撃したときの台地が揺れ大音響の響きは、八十歳を過ぎても忘れません。家の近くの畑には米軍がまいた小さなビラがたくさん落ちていました。ビラには日本軍人がロープで縛られた姿と、早く降伏しなさいと表示されていた。子ども心に戦争が早く終わるように祈っていました。

戦後広島島の原爆ドームや平和祈念資料館を訪れ、遺品や写真を見てあまりの悲惨さに、正視することができませんでした。人類が犠牲になる悲惨な戦争はなくなっしてほしいです。



千種公園 戦争のきづあと

短歌

ピアノソナタのリズムは弾む喫茶店
朝モーニングを食べる刻
東部 水田清一

川柳

今朝もまたネバーギブアップ納豆で 西部 石黒勝
孫歌うスマホ片手に拍手する北部 安井明恵
幸せはお金持ちよりお友だち 西部 成瀬雅子
耳鳴りか虫の声かと思ひそめ南部 野崎克己
完熟のトマト枝先赤とんぼ 南部 後藤和由

俳句

季はめぐり峠を越える栗の里 西部 亀井彦巳
あくびして沈まぬウキと赤トンボ 西部 安達洋三
七夕会子の笹ねがいパパチエック南部 山守明美
うす紅の口紅つけし秋の色 東部 山田節子
明易し見ても忘れし夢あまた 西部 成瀬雅子
秋の蝉命の限り鳴きにけり 西部 加藤義勝
久しくや友訪ね来る栗を手に 西部 永縄満
眺むれば心穏やか菊の花 東部 加藤美明

Pick Up!

見えてみる

出かける

食べる

名古屋ウォッチング

「水の歴史資料館」の紹介

千種区に水の歴史プロムナードという散歩道があります。その散歩道に「水の歴史資料館」もあります。名古屋市上下水道事業100周年を記念して整備した施設で、江戸時代の木製の水道管の展示や、名古屋の上下水道の歴史、防災対策などが紹介されています。“おいしい名古屋の水”の歴史を見学されてはいかがでしょうか。



百周年記念マンホールふた「水の歴史資料館」外観

第一展示室②

(詳しくはTEL:052-723-3311またはホームページをご覧ください。)http://www.water.city.nagoya.jp名古屋市上下水道局HP参照



正解者には抽選で 40名様に500円分の図書カード進呈

115号の解答は次号に掲載予定です。



▲QRコード

応募先

〒466-0015
名古屋市中区和区御器所通3丁目12番地の1
名古屋シルバー人材センター「コーヒーブレイク」係

応募方法

メールまたは「ハガキ」にクイズのこたえ・会員番号・住所・氏名を記入のうえ応募ください。メールの場合は、件名に「コーヒーブレイク116号」と入れてください。QRコードを読み取ると、アドレス入力が必要ありません。作品の投稿に併せてのご応募もできます。

問題

同じ読み方でも、違う漢字がたくさんあります。それぞれの漢字を完成させましょう。

- ① 豆腐1 ちよう ください! ⇒
- ② ちよう 食に目玉焼きを食べました ⇒
- ③ 本日も絶好 ちよう です ⇒
- ④ かい 外旅行はハワイへ行きました ⇒
- ⑤ 世 かい は広いな ⇒
- ⑥ この かい 画の作者はダヴィンチです ⇒

解答

応募締切 令和5年11月30日(木)消印有効 ※当選の発表は記念品の発送をもって替えさせていただきますのでご了承ください。

原稿募集

いずれも、発行季節の1月・7月に合った作品をお待ちしています。

表紙(写真・書・絵画など)

※ご応募の際は、タイトルをつけてください。「名古屋」ならではの写真、お待ちしております。

会員のひろば

● 投稿文

テーマ 私の生きがいや仕事と趣味など
字数 400字以内。
内容に合う写真も添付してください。

● 俳句・短歌・川柳・詩・書など

読みづらい漢字にはふりがなを入れてください。
(俳句・短歌・川柳はそれぞれ3句まで)

【原稿提出先】

〒466-0015
名古屋市中区和区御器所通3丁目12番地の1
名古屋シルバー人材センター
『シルバーなごや』係

【原稿締切日】

【1月号】令和5年11月20日(月)必着
【7月号】令和6年4月8日(月)必着

皆様のご応募お待ちしております。
機関誌「シルバーなごや」へのご意見感想もお寄せください。

事業実績

(令和5年6月30日現在)

- 正会員数
合計7,462人
男...4,579人
女...2,876人
未回答...7人
東部...2,131人
西部...2,008人
南部...1,592人
北部...1,731人
- 配分金等
594,339,571円
- 受注件数(派遣含む)
9,912件
- 就業率(派遣含む)
60.6%

前号の感想〜会員の皆様より〜

名古屋は連日の猛暑です。シルバーなごやいつも楽しみながら読ませていただいています。会員様の活動の様子がとてもよく分かります。今後ともお世話になります。

何時もシルバーなごやを家族揃って楽しく愛読しています。

表紙の徳川園の写真とても素晴らしいです。水面に傘が映り、睡蓮の葉が周囲を囲って綺麗です。

懸賞つきクイズ超難問でした。久しぶりに辞書で調べまくり勉強になりました！

懸賞つきクイズ①の答えはなかなか調べてもでてこなくて頭を使いました。